

あっちこっち タイムズ

きょうたんごしきょういくいいんかい
京丹後市教育委員会
れいわねんどがつはっこう
令和7年度7月発行

がつ
7月
JULY

こんげつ ないよう 今月の内容

- なつ す かた
イギリスの夏の過ごし方 1
かんこうこうしゃ さく
(観光公社CIRのネージョー・ナターシャ作)
- にっぽん はなびたいかい
日本とアメリカの花火大会 3
- リーディングチャレンジ 5
- Goodbye, Amanda先生 8
あそ
- 遊びコーナー 9



なつ す かた イギリスの夏の過ごし方 てんき イギリスの天気はどうですか？



イギリスの夏は京丹後の夏と同じように気温が一番高い季節ですが、京丹後と違って、湿度が低いので、ムシムシすることはほとんどないです。温度は京丹後より低くて、平均気温は15-20度で、雲も多いので、日傘などを持たなくても大丈夫です。イギリスは寒い国なので、エアコンがない家やビルがほとんどです。その代わりに暖房が多く使われています。

イギリスの夏、
どう？

イギリス出身 観光公社のCIR、ナターシャさん！

イギリス人はどのように夏を過ごしますか？

イギリスの夏には2つの特徴があって、「おいしい」と「楽しい」です。

まずは「おいしい」食べ物です。夏になると、バーベキューパーティーをする人のすがたを見るようになります。家の庭で、音楽を流して聴きながら、ハンバーガーやソーセージを焼いたり、サラダや果物を準備したりして、家族や友達と食えることが多いです。庭がなくても公園でピクニックも楽しむのが人気です。



イギリスの夏に、フルーツもあります！京丹後の「あきひめ」とは違ってイギリスのイチゴは5月から夏にかけて出回ります。夏の時期にイチゴと生クリームと合わせた「ストロベリー&クリーム」というデザートがよく食べられています。



その「おいしい」デザートと「楽しさ」を合わせるイベントがあります。ウィンブルドン(Wimbledon)という有名なテニス大会です。19世紀から、ウィンブルドンでテニスを見ながら、ストロベリー&クリームを食べる伝統が続いています。



そのほかにも、イギリスの夏には「楽しい」ことがたくさんあります。夏休みや3連休に休んで、海に行ったり、テーマパークでわくわくしたりするのももちろん、文化や音楽のフェスティバル、王室の伝統的なお祝いなどが楽しめるので、本当に楽しい時期です。



日本とアメリカの花火大会の違いってある？

夏なつといえば、花火はなび！

7月中がつちゅう、毎週末まいしゅうまつに京丹後きやうたんごのどこかで花火はなびが打ち上げられていま
す。暑い真夏の夜あつ まなつ よるにみんなが集まって、浴衣あつ ゆかたやじんべいを着て、
色とりどりの夜店いろ よみせが並んだまちを見たら、お祭り気分になります
よね！

世界各地せかい かくちできらびやかな花火はなびが楽しめますが、国の文化たの ぶんかによって
楽しみかたや打ち上げる時期う あ じき ことが異なります。アメリカでは、日本にっぽん
と同じように7月の夏おな がつ なつに花火はなびを打ち上げますが、楽しみ方は大分違
いますよ！

アメリカで花火を打ち上げる日は、7月4日の独立記念日はなび う あ ひ がつ か どくりつきねんび
(Independence Day)という祝日しゆくじつです。イギリス帝国から自由ていこく じゆうを
求めて独立を宣言したのは1776年7月4日で、その後、毎年花火を
打ち上げたという話が伝えられています。アメリカの独立を祝う
ために、毎年7月4日の夜に花火をアメリカ各地で盛大に打ち上げま
す。日中では盛大なパレードが開催され、いろんな乗り物やマー
チングバンドが披露ひろうされます。公園や大きい広場でピクニックも
開催し、家族や友達が集まって、グリルの上にハンバーガーやホ
ットドッグを焼いたりライブコンサートを楽しんだりフリスビー
を投げたりします。国旗の赤・白・青の三色を身につける習慣も
あります。空が暗くなったら花火を上げますが、上ってくるたび
に観客から「oooh」「aaah」という歓声が聞こえます。



大家族で集まる！ ハンバーガーやホットドッグ、
とうもろこしを焼いて食べます。



マーチングバンドの服装、かっこいいですね！

た くに 他の国では...



オーストラリア
ニューイヤーズイブ (大晦日)



中国・台湾・香港など
春節 (旧正月)



インド
ディワリ祭 (光の祭)



イギリス
ガイ・フォークス・ナイト
(たき火の祭)



フランス
パリ祭 (革命記念日)

Let's Try Reading!



おんげん
音源はこちら

A long time ago, a girl came down from **heaven**. Her name was the **Weaver Girl**. She wanted to **take a bath**, so she came down to Earth. She hung her clothes on a tree nearby and took her bath. A boy passed by and saw her. "She is so beautiful," he thought. The boy **fell in love**. His name was the **Cowherd**. The Weaver Girl noticed him, and the Cowherd was **embarrassed**. He grabbed her clothes from the tree to hide his face and ran away.

The Weaver Girl needed her clothes to go home, so she went to him to get her clothes back.

"May I please have my clothes?" she asked. "I must go home."
The Cowherd didn't want to. He wanted her to stay.

"I love you," he said. "**Please marry me.**"

The Weaver Girl said yes, and the two became **husband** and **wife**. They had two children.

In heaven, the Weaver Girl's mother and sisters became worried. She was gone for a long time. She had to weave her fabric. Then, they saw that she had a new family on Earth.

The Weaver Girl's mother told her to come back right now. Her mother was very mad.

On Earth, many years had passed. The Weaver Girl loved her husband very much. She did not want to leave him. But, her mother was **too powerful**. She had to go back to heaven.

The Cowherd loved his wife. He was very sad when she left. His two children missed their mother too.

"What do I do?" he cried.

His cow talked to him. "Take your children and ride on my back," the cow said. The Cowherd, his two children, and the cow flew up to heaven. He came to the **Milky Way** and saw his wife on the other side. He was so excited to see her again.

But, the Weaver Girl's mother kept them apart. She did not allow them to meet. The Weaver Girl and the Cowherd cried.

The Weaver Girl's father, **King of the Heavens**, saw this and **pitied** his daughter. "You can meet each other once a year, on the **seventh day of the seventh month**," he said.

Now, every year, on the seventh day of the seventh month, you can see the Weaver Girl and the Cowherd meet in the night sky. This is the story of Tanabata.



The End.



たんごひょう
単語表

heaven	<small>あまの はら</small> 天野が原
Weaver Girl	<small>おりひめ</small> 織姫
take a bath	<small>ふろ はい</small> お風呂に入る
fell in love	<small>こい お</small> 恋に落ちた
Cowherd	<small>ひこぼし うしか</small> 彦星／牛飼い
embarrassed	<small>は</small> 恥ずかしい
Please marry me.	<small>けっこん</small> 結婚してください。
husband	<small>おっと</small> 夫
wife	<small>つま</small> 妻
powerful	<small>てごわ</small> 手強い
Milky Way	<small>ぎんが</small> 銀河
King of the Heavens	<small>てんてい</small> 天帝
pitied	<small>あわ おも</small> 哀れだと思った
seventh day of the seventh month	<small>しちがつなのか</small> 七月七日

グッバイ アマンダ 先生 Goodbye, Amanda先生

アマンダ・ワイルダー先生は弥栄・丹後の小中学校のALT（外国語指導助手）として3年間勤めていました。7月末にアメリカに帰ります。



1、次はどこに行きますか？

出身のカリフォルニア州サンディエゴ市に戻ります。

2、京丹後での先生として、一番思い出になった経験は何ですか？

中学校と小学校に行っていたので、子どもたちの成長を見ることができるのが、とても楽しかったです。また、英語の授業以外にも、学校の廊下でみんなに話しかけられたり、遊んでくれたりしてとても嬉しかったです。

3、京丹後の一番好きなところは？

こんなに美しい自然に囲まれた暮らしが初めてで、いろんな植物やお花、動物や虫を観察したり習ったりするのが楽しかったです。出身地のサンディエゴでは一年中晴れていて快適な場所なので、日本の冬の大雪や夏の蒸し暑さは大変でしたが、京丹後の四季折々の気候が体験出来たのがよかったと思います。京丹後の食べ物もすごくおいしいです！



ハマダイコンの花ばたけ



のどかな里山



マジックアワーの夕日ヶ浦

4、一番好きな日本料理はなんですか？

全て大好きなんですけど、刺身としゃぶしゃぶが一番好きです！日本のお茶も大好きで、特に玄米茶とほうじ茶をよく飲みます。

5、学生へのメッセージ！

離れるのは寂しいけど、みんなと一緒に作った思い出をずっと心の中に残るよ。皆さんののおかげで、本当に楽しい経験になった。京丹後で過ごした時間は絶対に忘れないよ！皆さんも一緒に習ったことも振り返りながら頑張って進んでいってね！

元気だね！！
We will miss you!!



ELSAリーディングコンテスト

AIツール（ELSA）に配信される課題を練習して
英語の発音をよりカッコよく話してみませんか？短い英
文章を読み上げ、流暢な発音に挑戦してみましょう！

開催期間 7月14日（月）～9月30日（火）

対象 小学5年生～中学3年生

※学校または学級によって読む文章が異なりますので、担当の先生とご確認下さい。

提出期限 9月30日（火）

結果発表 11月中旬



ここから申し込んで！

参加者申込書

<https://forms.gle/XvQ5GueaKiPad3zv5>



Activity Corner



Guess! - 英単語をあてて！

夏の英単語、何が当てはまりそう？ 謎の文章からあててみましょう！

1. プールや海に入ったらする運動

2. あちー、あちー、あっちちー！

3. やたい、ゆかた、はなび！

4. 外がしましま、中があかくてあま〜い、まるいくだもの。

5. あおくてひろい塩水プール

